

令和5年産麦作情報（第5号）

1. 気象の概要（3月1日～19日までについて）

- ・気温は、平年より高く推移した（平年+2.6℃）
- ・降水量は平年より非常に少なかった（平年58%）
- ・日照時間は平年に比べ長かった（平年138%）

2. 麦類の生育状況

<農業試験研究センター・川副>

◎農試作況試験における麦類の生育（3月20日調査）

品種	播種期 (月/日)	年次	草丈 (cm)	茎数 (本/m ²)	葉齢 (L)	葉色 (SPAD)	概況 (平年・平均と比較して)
シロガネコムギ	11/21	本年	60.5	565	9.1	42.9	[気象] 2月28日～3月19日まで ◆平均気温…平年より2.5℃高い ◆日照時間…長い(平年比141%) ◆降水量…少ない(平年比55%) [生育] ◆草丈 12/9播種「サチホゴールド」、 12/1播種「はるか二条」で低い。その他は、平年並み。 ◆茎数 「シロガネコムギ」で少ない。12/1播種「はるか二条」でやや多い。その他は、多い。 ◆葉齢 12/1播種「はるか二条」でやや遅い。その他は平年並み。 ◆生育ステージ(次頁参照)
		平年	61.0	670	9.0	44.8	
	平年比(差)	99	84	+0.1	-1.9		
	12/9	本年	46.1	607	8.0	51.2	
平年		45.8	699	8.1	45.1		
平年比(差)	101	87	-0.1	+6.1			
サチホゴールド	12/1	本年	61.8	1187	9.9	39.2	◆葉齢 12/1播種「はるか二条」でやや遅い。その他は平年並み。 ◆生育ステージ(次頁参照)
		2ヵ年平均	62.3	995	10.2	40.4	
	前年比(差)	99	119	-0.3	-1.2		
	12/9	本年	58.2	1089	9.0	39.6	
平年		50.3	1004	9.1	41.2		
平年比(差)	116	108	-0.1	-1.6			
はるか二条	12/1	本年	55.4	977	9.7	44.7	◆生育ステージ(次頁参照)
		2ヵ年平均	60.3	939	10.0	41.8	
	前年比(差)	92	104	-0.3	+2.9		
	12/9	本年	54.9	1020	9.1	45.3	
5ヵ年平均		54.7	861	9.0	43.0		
平年比(差)	100	118	+0.1	+2.3			

◎本年の生育ステージ

品種	播種期 (月/日)	年次	幼穂形成始期 (月/日)	節間伸長開始期 (月/日)	茎立期 (月/日)	出穂期 (月/日)
シロガネコムギ	11/21	本年	1/29	2/16	2/18	未
		前年	2/2	2/23	3/1	4/2
		平年	2/2	2/17	2/20	3/31
	12/9	本年	2/20	3/7	3/8	未
		前年	3/1	3/8	3/13	4/9
		平年	2/23	3/4	3/8	4/8
ゴールデンサチホ	12/1	本年	2/11	2/24	3/4	未
		前年	2/7	3/2	3/10	3/29
		平年	2/7	2/26	3/6	3/28
	12/9	本年	2/12	2/28	3/9	未
		前年	2/16	3/9	3/13	4/3
		平年	2/12	3/3	3/5	4/3
二条はるか	12/1	本年	2/11	2/24	3/3	未
		前年	2/7	3/1	3/11	3/28
		平年	2/7	2/24	3/4	3/28
	12/9	本年	2/12	2/26	3/6	未
		前年	2/17	3/7	3/12	4/2
		平年	2/13	2/28	2/24	4/1

<三神管内>

調査日	場所	品種名		播種日	苗立ち数 (本/m ²)	草丈 (cm)	莖数 (本/m ²)	主稈 葉数 (L)	備考
3月20日	上峰	シロガネコムギ	本年	11月27日	158	59.7	598	8.9	・幼穂長4cm程度 ・止葉抽出中
			H24~29平均	11月29日	146	36.9	492	7.5	
			6か年比% (差)	(-2)	108	168	122	(+1.4)	
3月20日	神埼	はる風ふわり	本年	11月15日	157	65.1	945	10.0	・幼穂長5cm程度 ・止葉抽出中
			R3-4平均	11月18日	119	68.5	569	9.6	
			2か年比% (差)	(-3)	132	95	166	(+0.4)	
3月20日	鳥栖	はるか二条	本年	11月20日	130	62.8	779	10.0	・止葉展開済、出穂前
			R2-4平均	11月22日	107	59.4	649	9.6	
			3か年比% (差)	(-2)	121	106	120	(+0.4)	

- ・11月15~20日播種の小麦では、止葉が抽出している。
- ・11月中下旬播種の大麦では、出穂期を迎えている圃場が見られる。
- ・気温の上昇に伴い、出穂が早まっており、例年より1週間程度早い出穂が予測される。

3. 今後の管理

(1) 穂揃期追肥（実肥）施用（粒充実・タンパク値の確保）

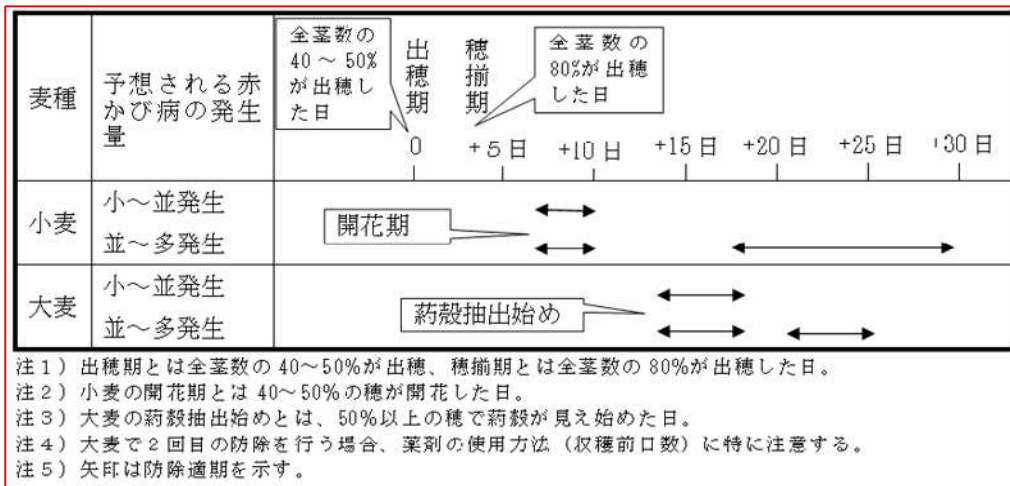
- ・ パン用小麦である「ミナミノカオリ」「はる風ふわり」「さちかおり」については、実需者の求めるタンパク質含有率を確保するため、必ず穂揃期追肥を施用する。
 - ・ 現時点において小麦の出穂期は3月下旬～4月上旬頃と予想される。（別添①出穂期予測を参照）
 - ・ 穂揃期追肥は、出穂期から1週間以内の施用が効果的である。
- ※穂揃前に施肥をしなければ、タンパク（%）および容積重（g/L）が低下し、品質評価基準値に満たない恐れがある。

品種別の穂揃期施肥（実肥）の施用量（10aあたり）

品種名	基準量（/10a）	
	硫安の場合	尿素の場合
「さちかおり」	30 kg	15 kg
「はる風ふわり」	25 kg	12 kg
「ミナミノカオリ」	20 kg	10 kg
「チクゴイズミ」	10kg	5kg

(2) 赤かび病の防除（はるか二条、しらゆり二条、パン用小麦は2回防除！）

- ・ 赤かび病感染適期は開花期～乳熟期で、高温多雨（20～27℃）で経過すると激発する。
- ・ 赤かび病防除時期については防除適期を逃さぬよう早めの準備を行う。（別添出穂期予測を参照）



◆はるか二条、しらゆり二条

- ・ 1回目：葯殻抽出期（出穂後10～14日）
 - ・ 2回目：1回目防除から1週間後
- ※トップジンM水和剤を使用する場合は、収穫前30日前までの使用となっているので注意！

◆サチホゴールド

- ・ 1回目：葯殻抽出期（出穂後10～14日）
- ※多発生時は2回目防除（1回目防除から1週間後）
 ※トップジンM水和剤を使用する場合は、収穫前30日前までの使用となっているので注意！



大麦の葯殻抽出期

●パン用小麦（ミナミノカオリ、はる風ふわり、さちかおり）

- ・1回目：開花最盛期（出穂後7～10日後）
- ・2回目：1回目防除から10～20日後



小麦の開花期

●シロガネコムギ、チクゴイズミ

- ・1回目：開花最盛期（出穂後7～10日後）
- ※多発生時は2回目防除（1回目防除から10～20日後）

（3）網斑病の防除（大麦のみ）

- ・3月20日の調査では展開葉及び止葉への発生が確認されている。今後3月下旬から4月上旬の気温の上昇や降雨により、さらに進展が予測される。
- ・上位部が枯死した場合は登熟に影響し減収・品質低下の原因となる為、上位葉に進展している圃場は、臨機に薬剤散布を行う。防除適期は出穂前7日～穂揃い期。



写真1 下位葉に発生したオオムギ



写真2 上位葉に発生したオオムギ

FRACコード	薬剤名	希釈倍率	使用液量	使用時期	本成分を含む農薬の総使用回数
3	チルト乳剤25	1,000倍	60～150L/10a	収穫21日前まで	1回
3	ワークアップフロアブル	2,000倍	60～150L/10a	収穫7日前まで	3回以内

病害虫防除のてびきに掲載している薬剤を掲載

（4）排水対策

- ・次第に降水量が増えてくる時期のため、排水の悪い圃場では、湿害による根の生育抑制及び活力低下に伴い、収量低下となる恐れがある。
- ・近年は温暖化の影響で局所的な大雨が降ることが多いため、枕地の排水溝を整備し、滞水しないようにする。

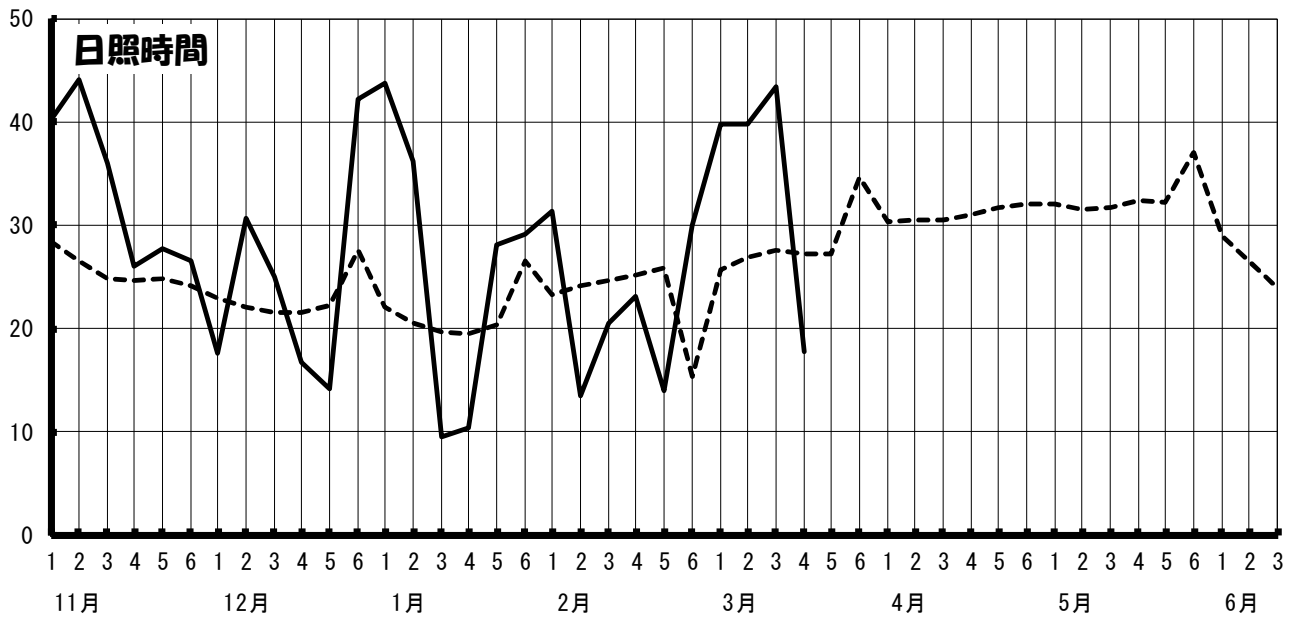
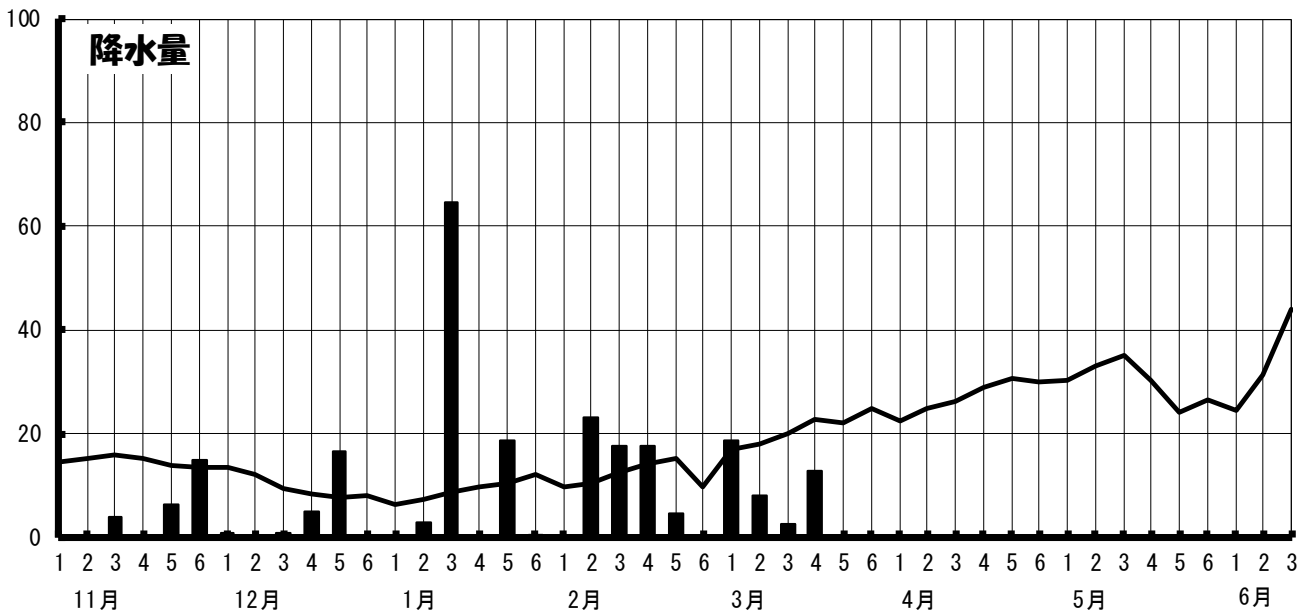
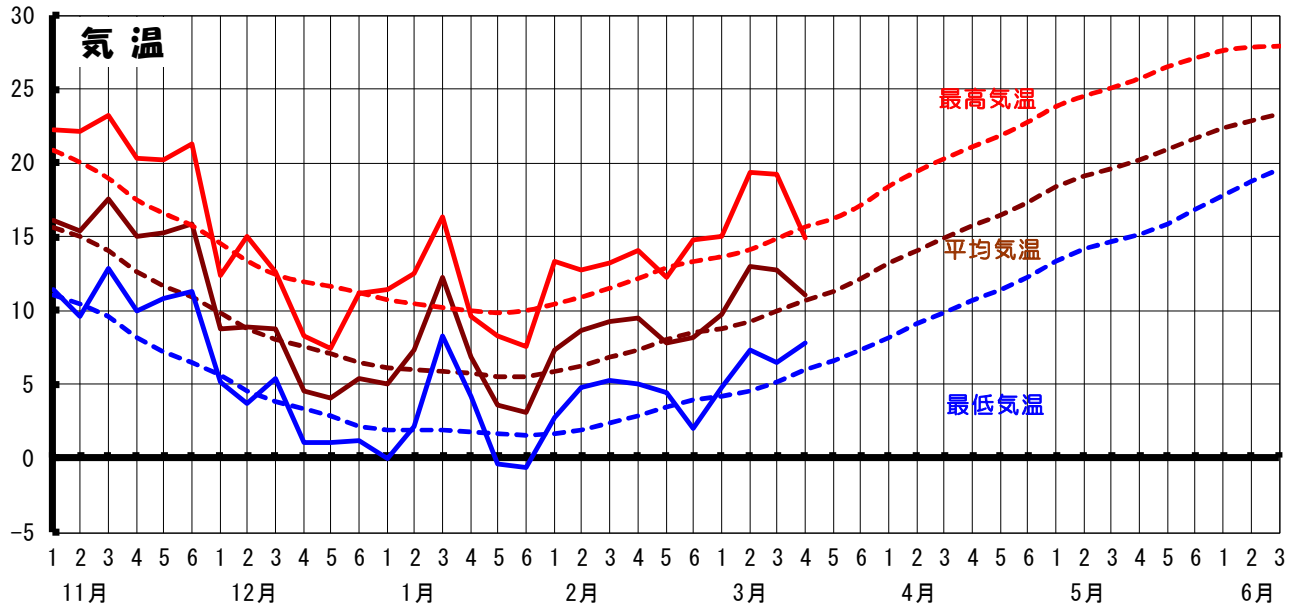
（5）カモ対策に係る注意点

- ・今年度はカモの飛来数が多く、カモ害の対策として「のぼり」「防鳥テープ」を設置し対策を行っている圃場が多くみられる。
- ・農業用ビニールや防鳥テープなどの飛散により、鉄道の運行に影響が出る事例が発生しているため、JR沿線で上記の対策圃場においては、設置期間中はしっかりビニールを固定し、撤去の際は飛散させないように回収するなど注意する。

R5年産麦類生育期間気象グラフ

アメダス観測値（佐賀）

三神農業振興センター



グラフ中の点線は平年値